

# JOUEN

春号 Vol.2

2017 4月 伝燈院赤坂浄苑  
April

新たな出会い、新たな体験、新たな発見  
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です



つのだ とく みょう  
角田 徳明 住職  
ご挨拶

購入した理由や趣味の広がり  
ご契約者様インタビュー

## 赤坂法話

赤坂浄苑イベント報告  
葬儀の仏教的な意味を知る。

## 健康特集

赤坂「素敵な寄り道」  
赤坂浄苑を支える人々

偉人の遺言

伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介

平成二九年四月一日発行

伝燈院赤坂浄苑

東京都港区赤坂4・2・32

TEL: 03-3568-1853

# 赤坂 青野

ここ赤坂の地に青野の暖簾を掲げて百数十年、  
いつの時代も日本人の繊細な味覚にふさわしい  
和菓子を育ててまいりました。  
時の流れに磨かれ、大切に伝えられてきた老舗の味。  
四季折々の自然を愛で、いとおしむ心が  
数々のお菓子をづくりました。  
銘菓「赤坂もち」をはじめ、伝統の技と心が  
お届けする味を是非、ご賞味ください。

青野のこだわり



## 自家製餡

餡は和菓子の命。  
餡によってその店の歴史が生まれます。  
匠の技で作られる、季節ごと、菓子ごとの餡。  
代々伝わってきた製餡方法こそ  
赤坂青野の自慢です。

## 手作り

赤坂青野の菓子はどれも職人の  
一手間がかけられています。  
丹念に人が手を尽くし、心を込めることこそ  
赤坂青野の基本です。

## 素材

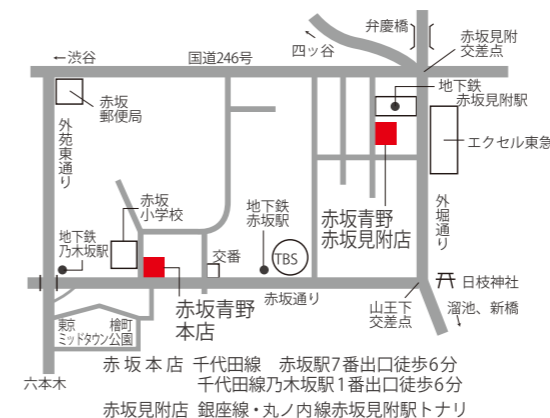
代々受け継がれてきた職長の目  
熟練した厳しい目で、確かな素材を選び抜きます。  
よい素材へのこだわりこそ  
赤坂青野の信頼です。



赤坂もち



## 赤坂青野製菓株式会社



赤坂本店 〒107-0052 東京都港区赤坂7-11-9  
電話 03(3585)0002 FAX. 03(3589)0050

赤坂見附店 〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-11  
電話 03(3586)0007 FAX. 03(3589)0055

大丸東京店 〒100-6701 東京都千代田区丸の内1-9-1  
大丸東京店内地下一階 電話 03(6895)2782(直通)

サテライト ショップ 溜池店、サカスカフェ店  
※サテライトショップへお問い合わせは本店までお願いいたします。

ホームページ <http://www.akasaka-aono.com/>

赤坂青野ホームページでは会社概要・店舗・各種商品の紹介の他、催事や販売店のご案内をいたしております。  
また、お買物に便利なオンラインショップ(インターネット通信販売)をご用意いたしております。  
"赤坂青野"にてご検索の上、アクセスください。



春号  
Vol. 2

新たな出会い、新たな体験、新たな発見  
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です

CONTENTS

## 01 伝燈院赤坂浄苑

つのだ とくみょう  
角田 徳明 住職 ご挨拶

APRIL 2017



## 03 【特集】 購入した理由や趣味の広がり ご契約者様インタビュー

心からホッとできる大切な場所

富沢はるなさん

## 05 赤坂法話

つのだ けんりゅう  
角田賢隆 「尊いご縁を深める場所に」

## 06 赤坂浄苑イベント報告

07 葬儀の仏教的な意味を知る。

09 健康特集 疲れを取る睡眠のポイント

10 赤坂「素敵な寄り道」

11 赤坂浄苑を支える人々 ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

12 チャレンジ! 趣味広場 今からでも始められる 超初心者のためのカメラ教室

13 偉人の遺言

14 伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介

## 伝燈院赤坂浄苑 住職 角田徳明



春の日差しが心地よく感じられる今日この頃、当苑ご契約者の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

来る4月8日は当苑ご尊様であられる「お釈迦様」の誕生日でございます。お釈迦様がお生まれになられた4月8日を「降誕会（ごうたんえ）」、お悟りを開かれた12月8日を「成道会（じょうどうえ）」、お亡くなりになられた2月15日を「涅槃会（ねはんえ）」、三つを総称して「三仏忌（さんぶつぎ）」といい宗門では特に大切な日とされております。

お釈迦様はお生まれになられ、7歩お歩きになられたのち天と地を指さし「天上（てんじょう） 天下（てんげ） 唯我独尊（ゆいがどくそん）」とおっしゃられました。文字の意味だけみますと「自分は世界で最も尊い存在である」となり、お釈迦様の尊さを伝えるため後世に創作された伝説だとされますが、別の解釈をすれば意味合いが全く違ってまいります。

「我」の部分をお釈迦様本人ではなくこの世に生ける私たち自身ととらえると、「人として生まれた私たち一人ひとりには他にかけてえのない大切な命である」という意味になるのです。

曹洞宗を開かれた「道元禅師」は、「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて すすしかりけり」という句を詠まれました。「すすしかりけり」とは清らかで澄んでいるという意味で、四季はそのまま美しく素晴らしいもので、それをありのままに体感できる心が禅の精神であると説いた句でございます。

お釈迦様の生誕に思いを馳せると同時に自身の尊さを再確認し、草木が芽吹く新緑の季節に、ありのままの自然の美を感じ取れるような心豊かな人生を送りたいものです。

合 掌



富沢はるな(とみざわはるな)さんプロフィール  
埼玉県さいたま市在住 46歳  
ビューティカウンセラーバイザー

赤坂浄苑 ご契約者  
富沢はるなさん



**赤** 坂浄苑のご利用者様の素顔や暮らし方をインタビュー形式で語っていただくこのコーナー。第二回は、ビューティカウンセラーバイザーとして人々の美と健康のためにご活躍されている富沢はるなさんにご登場いただきました。

美しくなる土台を作りながら、自分と楽しく向き合いハッピーな穏やかな気持ちになって頂けるようにお手伝いをさせて頂いています。  
特にストレスの多い時代です。心の疲れがお肌に表示することも少なくはありません。お肌と心を繋ぎ、心と心をつないでいくことがお仕事だと思います。  
強いては、平和で温かく、子供も育てやすい世の中になつてほしいと思っています。

—このお仕事を始めたのは、どのようなきっかけですか。  
父の闘病生活の中で、はじめての介護を経験しスキンケアの大切さを知り、義母の看病のお手伝いの中でアロマやメイク、ネイル等が心に豊かさを与えることを感じました。

手を握ってあげたりすると安心していい笑顔を見せてくれたのを覚えています。父が亡くなった後、偶然ロミロミのことを知り、技術を学び、心と体のバランス



# 赤坂浄苑は心からホッとできる大切な場所。

—最初に赤坂浄苑を選んだ理由を教えてください。  
父が亡くなってお墓を探していました。チラシやインターネットで調べ、興味のある埼玉県内他、都内も含めて4か所ほど見学に行ったのですが、なかなか決心が付きませんでした。ところが赤坂浄苑に来た時はすぐ「あ、いいな」と思ったのです。

—どのようなところ。  
明るい雰囲気がいりまして、何度も来たくなるような温かさを感じました。スタッフの皆さんがとてもフレンドリーなものを惹かれましたね。

—お墓参りはどれくらいの頻度で来られますか。  
一か月に一回は来ています。赤坂見附駅から歩いてすぐだし、都内に出かけたときなどはそのまま立ち寄ることも多

—美容とロミロミの魅力とは何でしょうか。  
あつという間に過ぎ去る日常の中、自分を見失いがちです。でも朝、鏡を見たときにスッキリしたよい顔を見ると、なんかハッピーな気分になりますよね。  
メイクするときのテンションがあがったり、服装や髪型もこうしたいとか意欲がわいてきます。小さな事かもしれませんが、そのことで自分を再

いすね。「お父さんに会いに行こう」と思ったときに気軽に行けるのが嬉しいです。

—今はどのようなことが楽しいですか。  
先日、義務教育を卒業した子供の成長をそばで見守りながら、美容の仕事(ビューティークウンサルバイザー)を通して相手も共に人間的に成長し、笑顔の瞬間を見るときです。良い妻ではないので、主人に感謝しています。

—ビューティークウンサルバイザーとはどのようなお仕事でしょうか。  
笑顔を忘れてしまったことはありませんか？  
一人一人の大切な笑顔を繋げていくお仕事です。

ロミロミというハワイに古くから伝わる伝統的な技術も使いながら、本来の自分を取り戻します。  
発見して、流されて生きるのではなく、自分が主人公になる人生に変えるきっかけになれることが魅力の一つです。  
—最後に今、感じていらっしゃる赤坂浄苑への想いを教えてください。  
いつ来ても心からホッとできる場所が赤坂浄苑。本当に出会えて良かったと思っています。

—インタビューを終えて中学生のお子様がいらっしゃるようには見えないほど若々しい富沢はるなさん。心と身体の関係について大切なお話もお聞きできました。

ロミロミとは・・・  
ロミとはハワイ語で「揉む」や「マッサージする」、あるいは「手のひらから伝わる愛情」という意味。ハワイに古くから伝わる伝統的なヒーリング療法として今に受け継がれています。そこから発展し、マッサージとして確立したロミロミは、「揉む」だけでなく、「流す」「揺らす」「圧す」「圧迫」など、様々な技法で行う手技マッサージとして多くの方に親しまれています。





# 赤坂浄苑イベント報告

新たな出会い、新たな楽しみを発見しました！

## イベント 01 新年ご奉仕 餅つき、甘酒振る舞い

1月1日(日)~3日(火)

餅つきで心も体も温まったお正月

餅つきや甘酒、豚汁振る舞いなど行い、たくさんの参拝者の皆様と心温まる交流の時間を持たせていただきました。



## イベント 02 新年祈禱会

1月1日(日)~3日(火)

無病息災をご祈念する新年祈禱会

本年も本堂にて参拝される皆様の無病息災の一年をご祈念させていただき新年祈禱会を行いました。



## イベント 03 収納学入門

2月4日(土)

充実した生活相談アカデミー  
インテリアと収納の専門家をお呼びしまして  
様々なアドバイスをいただきました。



## イベント 04 坐禅会

禅と親しめる坐禅会



坐禅の基本から僧侶が指導します  
心の平安を求めている方々が禅と触れあう  
貴重な時間を過ごしました。

## イベント 05 1日修行 戒名授与式

僧堂修行の体験として「読経」「坐禅」「写経」を  
僧侶と共にさせていただき、最後に「ご戒名」をお授けいたします。



# 赤坂法話 「深いご縁を 深める場所に」

つのだ  
角田 賢隆  
けんりゆう



お寺の在り方は今と昔とでは変わってきました。

昔は、お寺が地域の相談所のような役割を担っており、何か困ったことがあれば訪ねることがごく普通の風景でした。また、僧侶はそれに対応できる知識を持ち合わせており、檀家との関係も身近だったようでもあります。

映画「男はつらいよ」などを観ると笠智衆が演じる柴又帝釈天の御前様(住職)が寅さんをはじめ町の人々から親しまれていたことがわかります。

「寺子屋」の起源がそうだったように僧侶が教師のような立場にもあったようです。またそんなお寺を檀家が支え、お布施などによって維持していたわけですから。

時代が変わり、世襲が一般になり僧侶の質が落ち(自身も含む)、寺院離れが進む現代においても日本人のご先祖様に感謝する心は確実に受け継がれています。そのため今も昔と同じようにお彼岸やお盆にはお墓参りをする方々で賑わうわけです。

ただ昔とちがうのは、そこがお寺のお墓ではなく、霊園になってしまったということです。

仏教には「縁起(えんぎ)」という言葉があります。

「縁(よ)りて起(お)こる」と読み、世界の事象はいいことも悪いこともすべて原因があり、結果があるという仏教の基本的な教えです。赤坂浄苑では皆様からいただいた大切な出会い、「縁を「良縁(りょうえん)」とするため僧侶の力では補えない部分を専門家の方からご協力をいただき様々な勉強会やカルチャー教室を開いております。

そのことによってここが霊園としてだけではなく、もっと気軽に立ち寄れる集いの場であり、学びの場でありたいと願っている次第でもあります。

そして有難いことに今は、お墓をここに持たれていない方々も習い事等で数多く来苑されています。

昔のような地元とお寺の関係は、今は成り立ちにくくなっているように見受けられます。特に他地域から移り住まれ、マンション等で生活されている方々にとっては、お寺以前に地域との絆自体も浅くなりがちです。

そういった時代であるからこそ、赤坂浄苑はここで生まれたかけがえないご縁を大事にし、今の時代にふさわしい新しいお寺と皆様との関係をつくっていきたく願っている所存でございます。

合掌





このように、お葬儀とは故人が仏弟子として成道するよう、導師様がお導き下さる儀式なのです。意味合いを知って参列されるお葬儀は心持も少し変わってくるかと思えます。

式の途中でお授けする戒律は「三帰戒文」の3条、「三聚浄戒」の3条、「十重禁戒」の10条をあわせて16条の戒律となります。次にそれぞれの戒律について明記いたしますので、参考になる所がございましたら実践していただければ幸いです。

# 葬儀の仏教的な意味を知る。

お葬式に参加する機会は年を重ねるごとに増えていきますが、その内容にどのような意味があるかを学ぶ事がなかなかないものでございます。ここでは仏式(曹洞宗)におけるお葬儀の意味合いについてご紹介いたします。

## 葬儀は仏門への入門式

曹洞宗におけるお葬儀を簡単に説明しますと出家入門式でございます。ご生前は縁がなかったものの、亡くなった後に導師様より仏弟子としての戒律を受け仏門に帰依し、仏弟子としてふさわしい名前「戒名」の書かれた、お釈迦様から故人に至るまでの系図「血脈」を授かる式です。仏弟子になるからこそ亡くなった方を「仏様」と呼ぶわけですね。

## 葬儀の流れ

### ①葬送の辞

導師様がお唱えいたします。これから行われる儀式を分かりやすく説明するとともに、この儀式が厳かで安穩に行われることを願うお言葉です。

### ②剃髪の儀

出家される場合煩惱を離れるため髪や髭を剃り落とします。故人様に対しても儀式上の所作として「剃髪」を行います。

### ③授戒の儀

故人のこれまで行ってきた過ちを懺悔いただき、導師様より仏弟子として守る16条の戒律をお授けいたします。その後、仏法がお釈迦様から導師様に至りそのもとに故人様に受け継がれた証として、お釈迦様から自身まで辿る系図が書かれた「血脈」をお授けいただきます。

### ④入棺の儀

前日に納棺を済ませておりますが、本来はここでを行います。納棺に際してご供養のお経が上がりま。

### ⑤引導の儀

現代は火葬場で火葬となりますが、本来はここで松明の火を御棺に灯します。儀式上の所作のみ行い、その後導師様より「引導法語」が唱えられます。

「引導」とは導師様の境涯で死者を導くありがたいお言葉で、お葬儀で最も重要な部分となります。

よく「引導を渡す」という言葉が「とどめを刺す」という意味で使われておりますが、本来はこういった意味です。

### ⑥焼香の儀

故人様に対してのご供養のお経が上がりますのでここで参列者の方にお焼香いただきます。

### ⑦弔辞 弔電

弔辞弔電があれば葬儀後に奉読いただき、その後通常ですと喪主様のご挨拶となります。

## 三帰戒文(さんきかいもん)

- 一 南無帰依仏
- 二 南無帰依法
- 三 南無帰依僧

(なむきえぶつ)

(なむきえほう)

(なむきえそう)

## 三聚浄戒(さんじゅじょうかい)

- 一 撰律儀戒
- 二 撰善法戒
- 三 撰衆生戒

(しょうりつぎかい)

(しょうぜんほうかい)

(しょうしゅじょうかい)

清き心を持ち一切の悪事を働きません

清き心を持ち一切の善行にはげみます

清き心を持ち世の為人の為に尽くします

## 十重禁戒(じゅうじゅうきんかい)

- 第一 不殺生戒
- 第二 不偷盜戒
- 第三 不邪淫戒
- 第四 不妄語戒
- 第五 不酤酒戒
- 第六 不説過戒
- 第七 不自賛毀他戒
- 第八 不瞋法財戒
- 第九 不瞋恚戒
- 第十 不謗三宝戒

(ふせつしょうかい)

(ふちゅうとうかい)

(ふじやいんかい)

(ふもうごかい)

(ふこしゆかい)

(ふせつかかい)

(ふじさんきたかい)

(ふけんほうざいかい)

(ふしんいかい)

(ふぼうさんぼうかい)

無駄な殺生はいたしません

盗みを働きません

道ならぬ愛欲を起しません

うそ偽りをもうしません

酒に溺れるようなことはいたしません

人の過ちを責め立てません

自らを誇り他人をけなすことはいたしません

物でも心でも施すことを惜しみません

怒りに燃えて自らを失いません

仏・法・僧の三宝を誹謗中傷いたしません





# 赤坂「素敵な寄り道」

赤坂からちょっと足を伸ばせば行ける素敵な寄り道スポットをご案内、第二回は東京ガーデンテラス紀尾井町です。

## 赤坂プリンスクラシックハウス

2011年には東京都指定有形文化財に指定された赤坂プリンスホテル旧館を備えた新しいスポットが「赤坂プリンスクラシックハウス」。重厚なチューダー・ゴシック様式の外観は見るだけでも素晴らしいのですが、もちろん中で食事などが楽しめます。ドレスコードを設けない気軽なフレンチレストラン、赤プリ時代に愛されたバー、カフェなどがきつと歓迎してくれます。歴史的洋館ならではの、優雅な当時のしつらえを活かした室内で特別な時間をお過ごしください。



■東京ガーデンテラス紀尾井町までのアクセスと所要時間  
東京メトロ「永田町駅」9a 出口直結  
東京メトロ「赤坂見附駅」D 出口より 徒歩約 1～2分

# 東京ガーデンテラス紀尾井町

「赤プリ」の愛称で広く知られていた「赤坂プリンスホテル」の跡地に昨年誕生したのが東京ガーデンテラス紀尾井町。そこは賃貸住宅の「紀尾井レジデンス」に加えて、ホテルや商業施設など「紀尾井タワー」と東京都指定有形文化財である旧李家東京邸（旧グラントプリンスホテル赤坂旧館）を保存しながら、新たな表情を持つ「赤坂プリンスクラシックハウス」の3つの建物で構成されています。今回紹介するのは、お買い物やグルメに嬉しい「紀尾井タワー」とちょっと贅沢な気分のカフェや食事が楽しめる「赤坂プリンスクラシックハウス」です。

## 紀尾井タワー

1階から4階は「紀尾井テラス」と呼ばれる商業施設になっています。1階の「弁慶濠テラス」には、テラス付きのオールデイダイニングや和菓子の名店などがあります。2階の「小左衛門テラス」には気軽に利用できるカフェやレストラン、世界中の「美味」を豊富に揃えるスーパーマーケットが並び、3階の「達磨坂テラス」と4階の「御門テラス」には、チャイニーズレストランやパーティーにも利用できる大型レストランなどが揃っています。



## 赤坂ドクター もっと教えて！ 疲れを取る 睡眠のポイント

### 見直しておきたい、睡眠時間+就寝時間

若いうちは少く無理をしてもすぐに元気を取り戻せました。でもある程度年齢を重ねていくとそうはいきません。そういった中で大事になってくるのは休息であり、中でも睡眠は疎かにしてはいけません。人間の睡眠時間は、人それぞれの個人差はあるとはいえ、1日平均7時間が理想とされています。また、60歳以上になると、体力的な衰えや疲労の回復が遅くなることもあって、長い睡眠が必要になる場合もあるでしょう。

今回、あらためて認識しておきたいのは、就寝時間を守ることです。

たとえば夜11時を就寝と決めれば、それを中心にした生活リズムをつくるようにしましょう。明日は遅くまで寝られるという日でも決めた時間に眠ることを習慣にしていって少く目覚めの心地よさがちがってくるのが期待できます。会社勤めの人などは残業やお酒のお付き合いなどでどうしても遅くなることもありますが、それを原則にすることで仕事を効率よくする工夫やハシゴ酒を控えようと思えるようになることでしょう。

ただここで忘れてはいけないのは規則で自分を縛るという窮屈な捉え方ではなく、より良い生活習慣をつかっていくという発想です。就寝時間を決めて規則正しい生活をする中で「それなら食事の栄養バランスや時間も改善していこう」、「適度な運動を続けてみよう」という意欲も生まれてきます。そのことで身体の調子がより良くなればさらにスポーツクラブに通ってみるなど健康づくりにさらに積極的になってくるはず。健康の基本は睡眠、そして就寝時間を決めることです。

毎日の睡眠から体づくり！

健康な毎日を過ごすために睡眠はやっぱり大事。でもどんなふうに寝るべきか。このコーナーでは考えてみました。

スッキリと元気に朝を迎えていくために。就寝時間を決めてより良い健康リズムをつくりましょう。

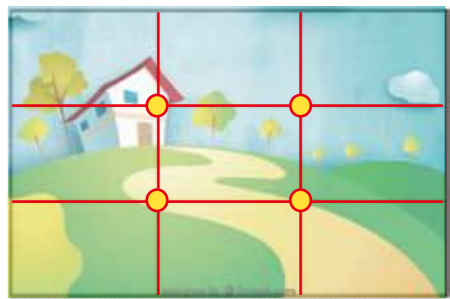




カメラで！  
スマホで！  
気軽にはじめる  
写真の世界！！

いつ写真を撮るか決めるのに重要なことの1つが照明です。携帯で人物写真を撮る時には、被写体が十分に明るいことを必ず確認しましょう。自分の背後に明るさを保つという写真撮影のルールで、いわゆる逆光は要注意です。もちろんそれを心得た上であえて逆光での撮影にチャレンジしてみてもいいでしょう。もしかするとドラマチックな写真が撮れるかも知れません。

**日の丸構図から三分割法へ**  
撮った写真がなんだかパツとしないと感じる原因は構図にあるかも知れません。そんなときに役立つのが三分割法です。初心者も多くは、撮りたいもの



チャレンジ！趣味広場

# 今からでも始められる 超初心者のための カメラ教室

いますぐ  
チェック！

カメラがないと写真の撮影ができなかったのは、もうずいぶん昔の話。  
今は携帯電話のカメラ機能を使えばいつでもサッと撮影ができます。今回はちょっと気をつけるだけでその写真の質が上がる基本テクニックをご紹介します。



**背景に神経を使う**  
プロのカメラマンがロケなどで気を使うのは、被写体だけではなく、背景です。どんなに美しいものを撮影しても画面の端にゴミ箱などが写っていれば写真は台無し。ここぞという1枚を撮りたいときは、隅々まで注意してシャッターを切りたいものです。

光と影を上手に活かす  
ある程度撮影に慣れてきたら「光が影を生み出す」ということを意識して撮る角度を選びたいものです。光は被写体を明るくするだけではなく、影をつくり、立体感を出してくれます。たとえば公園に咲いていた花を撮りたいときも、いろいろと角度を変えて見てみましょう。花びらの多い花なら陽光を受けていろいろな影を花自体に落とされています。よく晴れた日はくっきりと明暗を出すでしょう。そういった光と影の使い方写真のグレードは変わってきます。

を日の丸のように中央にもってきてしまう「日の丸構図」にしてしまいがちですが、面白くない写真になります。ところが三分割法を使うとそれがちがった印象になります。三分割法は画面を縦横それぞれ1/3ずつに区切って分割し、その分割線の交点に被写体を置くポイントを定めるやり方で「黄金分割」と呼ばれることもあります。図のように画面の縦横を3等分して、その線が交わる4つの点のどこかに、撮りたい被写体をもってくると、バランスのいい、安定した構図が得られます。頭の中でこのポイントを意識しながら撮影にチャレンジしてみてください。何度かやってみると自然と三分割法がマスターできるようになります。

02  
good face

good face

赤坂浄苑にかかわる人たちの 普段見れない一面を紹介



## ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

赤坂浄苑を支えるスタッフを紹介していくこのコーナー。今回は、赤坂浄苑のスタッフとしてその運営全般を支えながら、毎週苑内で開講されるフラワーアレンジメント教室の講師として活躍する松永いづみ氏が登場しました。

頑張るスタッフ2

赤坂浄苑スタッフ  
フラワー  
アレンジメント教室  
講師 松永いづみ



・松永いづみ  
現在認定講師をしている(株)ヨーロッパフラワーデザイン連盟で、生花、プリザーブドフラワー、ドライフラワー、エディブルフラワー（日本切花協会）等のインストラクターライセンスを取得。NFD1級。千葉県内のフラワー教室でフラワーアレンジメントを教える。その後、赤坂浄苑の寺務所スタッフとして勤務しながら苑内のフラワー教室で講師も務める。

### イベントを通じて広がる ご契約者様との繋がり

#### 保健室の先生からの転身

以前は小中学校で養護教諭として勤めていました。“保健室の先生”としてずっと仕事をしていましたが以前から習ったかったお花の勉強をするチャンスがあり、フラワーアレンジメントの教室に通うようになりました。養護教諭という子供の命と関わっていく緊張の連続の中で、フラワーアレンジメントは心の癒しになっていました。その後、そこで取得したライセンスを生かして千葉県内でフラワー教室を開講していましたが、ご縁があって苑内で開講することになり、さらに赤坂浄苑よりお声をかけていただき寺務所でのお仕事に従事しています。



#### 心を優しく癒してくれる花々

教室は、皆さんいっしょに学びますが、人によって始めた時期や経験も違いますので初級編、中級編、上級編とわけて教えています。そのようにすることで初級の人は中級を、中級の人は上級を、そして上級の人はライセンスを取得するといった目標も持て、皆さん、意欲を持って参加されています。ただ基本は、学ぶというよりも楽しむということを大事にしています。お客様を家に招いてのパーティーや家族のお誕生日、また子どもの節句など様々なタイミングで空間を花で飾れるのがフラワーアレンジメントの素晴らしいところですし、習ったことをすぐに活用できる楽しさがあります。受講される方には、お墓の利用者様で愛する家族を亡くされて悲しみが癒えていない方もいらっしゃいます。そういった方も、花とふれあうことで少しずつ表情に明るさが戻っていくようです。これからもフラワーアレンジメントを通して皆様の心を豊かにできるお手伝いができればと願っています。



次回6月4日(日)13:00~フラワーアレンジメント体験会開催予定! 限定20名



# 赤坂浄苑 行事紹介

4 APRIL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26 先勝	27	28	29	30	31	1 先勝
2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝	8 友引
9 先負	10 仏滅	11 大安	12 赤口	13 先勝	14 友引	15 先負
16 仏滅	17 大安	18 赤口	19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅
23 大安	24 赤口	25 先勝	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝

皆様が参加したい  
イベントを  
募集いたします！

下記、管理寺務所まで  
お問い合わせください

## 花まつりのお知らせ

4月7日(金)～9日(日)  
4月8日はお釈迦様のお誕生日で、ご誕生を祝うお祭りが花まつりです。今年から花御堂を飾っておりますので、ご来苑の際には 誕生仏に甘茶を注いでください。



5 MAY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口	5 先勝	6 友引
7 先負	8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝	12 友引	13 先負
14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅
21 大安	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 大安	27 赤口
28 先勝	29 友引	30 先負	31 仏滅	1	2	3

## 契約者の集い

5月13日(土) 13:00～15:00  
当苑館長の角田賢隆がお話し、『契約者の集い』では会の後には質疑応答も設けております。この機会にご質問・ご意見などお気軽にお話しいただければ幸いです。あわせて当苑と協力関係を結ばせていただいております『生活発創アカデミー』より『産業カウンセラー』の資格を有する講師の先生をお招きして「心の健康」についてご講義いただきます。

## フラワーアレンジメント体験会

6月4日(日) 13:00～15:00  
参加費は無料で先着20名様限定とし、体験で使用する道具は当苑でご用意いたします。この機会に是非ご体験ください。



※都合により予定が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

ぜひご参加ください。今後へ向けてご意見もお寄せください。

お問い合わせ

伝燈院赤坂浄苑 管理寺務所 TEL.0120-358-053

# 【偉人の遺言】

「もつと光を」



波乱万丈の人生を生き  
様々な偉人たちがいます。  
その人生の最期の言葉を  
紹介するこのコーナー、  
第2回は世界の文豪ゲー  
テを選びました。

人生を豊かに  
生きていくヒント！

法律、政治、科学、文学と  
多彩な分野で活躍

1749年ドイツ(当時は神聖ローマ帝国)・フランクフルトに生まれたゲーテ。裕福な家庭で育ち、優秀な家庭教師から教育を受け、一流の書物に親しみながら青年へと育ったゲーテはフランスのストラスブールの大学に通います。その中でヘルダーという文学者と知り合い、大文豪の基盤がこの時期に築かれます。またこの頃に出会った恋人の相手ゲーテの代表作である『ファウスト』に登場する女性のモデルとなったと言われています。

その後ゲーテは法務の実習のため、当時の最高裁判所があったヴェツラーというところへと移ります。この地で体

## 死の直前まで 創作に力を注ぐ

やがて詩人で作家だったシラーとも出会い、彼との交わりの中でゲーテの文学的感性はさらに研ぎすまされていきます。有名な『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』、そして『ファウスト』の第一部は、シラーとの交流が大きく影響したとされています。

ゲーテの後半生は、世界的にはナポレオン戦争の時代と重なっています。ナポレオン

は『ウェルテル』の熱烈な愛読者であり、ゲーテとナポレオンは会っています。その時にナポレオンが発した言葉は「これこそ人間だ！」だったとのことでした。

ゲーテは死の直前まで『ファウスト』第2部の完成に精力を注ぎ、完成の翌1832年3月22日にその生涯を終えています。

ゲーテは様々な名言を残していますが、最期の言葉である「もつと光を！」は特に多くの人に知られています。

